



平成29年度

教育研究所だより

No.18

平成29年11月17日発信
〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向150-1



「人おこし」

Tel 0220-22-8029(相談専用22-8125) FAX 22-9114

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

我が家の庭にサザンカが1本あり、花を咲かせました。サザンカはツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹で、童謡「たきび」の歌詞にも出てきます。サザンカなどのツバキ科の葉を食べる「チャドクガ」という虫がいます。この「毒蛾」の卵塊、幼虫、繭、成虫には毒針毛があり、触れると皮膚炎を発症するそうです。気をつけましょう。

第2回小学校外国語活動・英語科研修会



10月26日(木)第2回小学校外国語活動・英語科研修会が開催されました。講師は東部教育事務所登米地域事務所副参事の佐々木利佳子先生です。

<佐々木利佳子先生>

研修会の概要は以下の通りです。

◇Warm-Up(サイコロ・トーク)

◇新学習指導要領について

- 小・中の全ての目標に使われているキーワード
- ・外国語によるコミュニケーション ・見方・考え方を働かせ
- ・言語活動 ・資質・能力
- 外国語活動, 外国語の資質・能力
- ・3, 4年生～外国語によるコミュニケーションを図る**素地**
- ・5, 6年生～外国語によるコミュニケーションを図る**基礎**
- ・中学生～外国語による**コミュニケーション**

◇移行措置について

- 移行措置期間の小学校の時数は3, 4年生で15時間(最低でも), 5, 6年生で50時間(最低でも)
- 中学校の移行措置で新たに追加になった知識・技能
- ・主語+動詞+間接目的語+(that~/what~)
- ・主語+動詞+目的語+原形不定詞
- ・現在完了形 ・仮定法 If I were you.
- 設定時数について, 3, 4年生では短時間学習はできない, 5, 6年生では短時間学習が可能

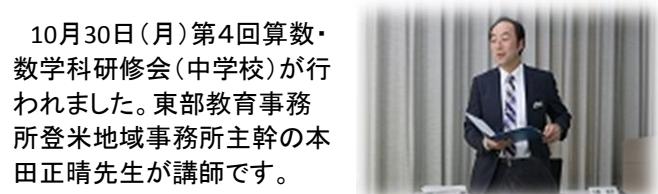
◇外国語教育の充実に向けて

- グループごとにこれからの外国語教育を進めていく上で大切なことは何かを話し合い, 発表し合う。(小中連携, 教師の心構え, 児童・生徒の興味関心, ALTの活用, 外国語専科教員等)
- 授業づくりのポイント
- ・単元や題材, 時間のまとまりで考える
- ・カギは単元デザイン 「何ができるようになるか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」
- ・4Cを意識する。
Creativity(創造性) Critical Thinking(問題解決能力)
Collaboration(協働性) Communication
- ・ゲーミフィケーションを活用する。(ストーリー性, 能動的, 称賛演出, 即時フィードバック, 達成可能な目標設定等)

<参加者の感想>(抜粋)

- ◆来年度からの移行措置の注意点が分かった。
- ◆7年間を見通し, どの段階でどのようなことを意識していく必要があるかを考えることができた。
- ◆テーマについてグループで考えを出し意見を交換することが有意義であった。
- ◆外国語科の向こう側にあるものを意識したい。

第4回算数・数学科研修会



10月30日(月)第4回算数・数学科研修会(中学校)が行われました。東部教育事務所登米地域事務所主幹の本田正晴先生が講師です。

<本田正晴先生>

今回の研修会は中学校教員対象です。参加者が少なかったのですが, その分, 講師と参加者との距離が近く, 対話しながら充実した研修となりました。

研修会の概要は以下の通りです。

◇全国学力・学習状況調査より

- 調査結果から見える登米市の課題(中学校)
- ・A問題で正答率が低いもの(1位～関数の意味, 2位～比例定数の意味, 3位～扇形の弧の長さ)
- ・A問題の正答率で県とのかい離が大きいもの(1位～相対度数, 2位～円柱の体積, 3位～文字式)
- ・B問題で正答率が低いもの(1位～事象が成り立つ理由, 2位～図形の関係に関する数学的な表現, 3位～資料からの判断理由に関する数学的な表現)
- ・B問題の正答率で県とのかい離が大きいもの(1位～筋道だった証明, 2位～数学的な結果の解釈, 3位～付加された条件下での図形の性質)
- 授業で大切にしてほしいこと
- ・意図的につまずかせ, 誤答を生かす(間違いは宝物)
- ・授業の中で問い返す
- ・ノートには, 読んでもらう人に分かるように, 相手意識をもって書かせる

◇算数・数学の授業づくり

- あるデータを使って授業をつくる(演習)
- ・2008年北京オリンピックのボルト選手(100m9秒69)の各地点でのタイムを記録した表をもとに授業をつくる。「ボルト選手の走りを分析しよう」(10mごとの速さから最大スピードを求める。10mごとの速さをグラフにし, 走りの特徴を分析する。等)
- ・生徒が意欲的に取り組む課題にするために, 「ハイジが乗っているブランコの長さを求めよう」(振り子の周期を求める公式, 画像を見て実際に時間を計測, 表をもとにして求める)
- ・実物(模型)を見て量感を養う。

◇これから求められる算数・数学の授業

- ・算数・数学の問題発見・解決のプロセスについて

<参加者の感想から>(抜粋)

- ◆学力調査の誤答を分析して授業に生かすこと, 興味・関心を引くための授業づくりのポイントについて学んだ。
- ◆数学に興味をもってもらえるような教材の用意等, しっかり向き合っていくことが必要だと感じた。
- ◆「すごい!びっくり!おもしろい!」が次への期待や物事を数学的に見ようという芽につながっていると感じた。